

(資料6)

自殺対策強化月間について(案)

内閣府自殺対策推進室

自殺対策強化月間実施事項（イメージ）（案） 「いのち支える」プロジェクト（仮称）

「いのち支える」プロジェクト（仮称）とは、自殺対策強化月間中に行われる様々なイベントや相談会等に、一体感・統一感を持たせるためのプラットフォーム（仕掛け）。乳がん対策における「ピンクリボン運動」のようにキャンペーン用のロゴやコピー等を作成し、全国の自治体や民間団体、マスコミや企業等にも参画を呼び掛けて、社会全体で「いのちへの支援（＝自殺対策）を強化していくためのものである。

平成10年より続く「年間自殺者3万人時代」に終止符を打つ

3つの柱

実務的な支援策の強化

支援策検索システムの強化

メディアと連携した啓発強化

全国各地で総合相談会を実施するなどして「実務的な支援策（相談の受皿）」を強化し、同時に「支援策探しのシステム強化」を図ることで問題を抱えた当事者が相談窓口に通りに着きやすい環境を整備する。さらに、そうした一連の強化策をメディアと連携して広く社会に伝えることで、「実務と啓発を両輪」にしながらプロジェクトを効率的かつ効果的に推し進める。

●支援策強化の具体策

・借金や仕事、心の健康問題等についての「いのちを支える総合相談会」を、基金事業として、各地の民間団体や職能団体等と協力して3月中に実施するよう、各都道府県に呼び掛ける

●検索システム強化の具体策

・悩みを抱えた人が簡単に相談できるよう、こころの健康相談統一ダイヤルを一層拡大する。
また、民間団体による電話相談における統一ダイヤル設定を働きかける

●啓発強化の具体策

・「いのちのメッセージ・リレー」を各界著名人に協力を呼び掛けて展開する
・「誰でもゲートキーパー大作戦（仮称）」を展開する
・「自殺対策全国キャラバン（仮称）」を都道府県と協力して展開する

プロジェクト推進体制

・「自殺対策タスクフォース」が牽引役となり、都道府県や民間団体等と連携しながら推進する。
（全国知事会や全国市長会、日本医師会等、民間団体にも協力を呼び掛けて、全員参加型で推進する。）

● 可能な限り3月1日（火）に、各種事業をスタートさせることで、プロジェクトの推進に弾みをつける。（メッセージリレー、相談会、検索サイト等）

● 「自殺対策全国キャラバン（仮称）」を3月中にキックオフし、官民が連携して全国各地で開催されるよう働きかける。

自殺対策強化月間「誰でもゲートキーパー大作戦(仮称)」の展開について

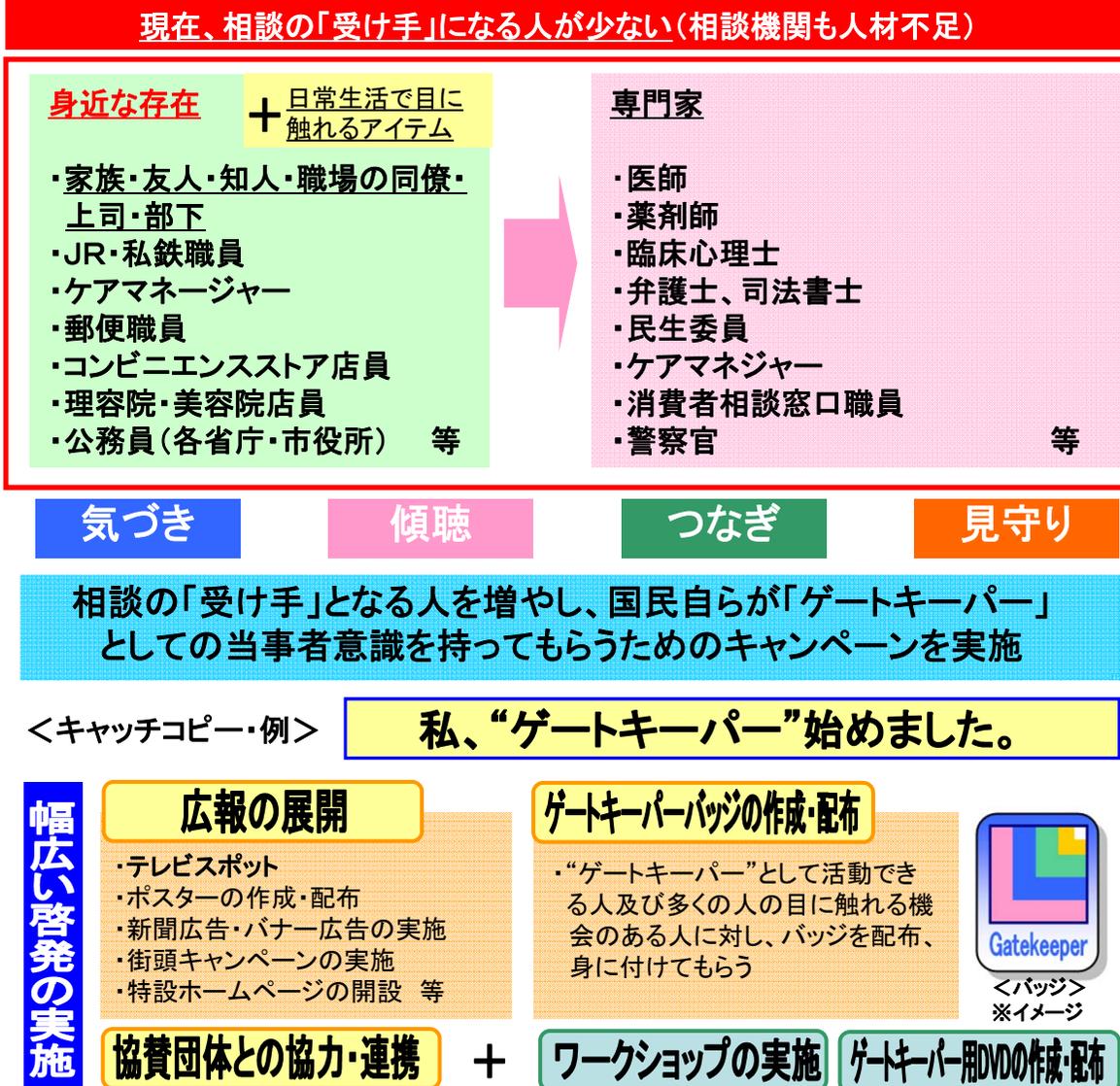
※ **ゲートキーパー**・・・自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることが出来る人のこと

○悩みを抱えたときに、まず身近に相談出来る存在がいること、孤立・孤独を防ぐことが自殺予防にとっては重要であることから、国民全員に「**ゲートキーパー**」としての意識を根付かせるため、広く啓発活動を展開する。

悩みを抱える本人

孤立・孤独を防ぎ、悩みを聞く存在(ゲートキーパー)が重要

本人が関わる人・場所・媒体にアプローチ



ゲートキーパーという言葉自体も新鮮であるため、広報には効果的

専門家以外にも「ゲートキーパー」の意識を持ってもらうことで、一般国民も自らがゲートキーパーであるという意識を高める(「受け手」を増やすキャンペーン)